



## 秋播き野菜について学ぶ

女性部では、秋播き野菜の栽培方法や収穫後の保存について学ぼうと「第2回畑の学校」と題した講習会を8月9日に能代市農業技術センターで開きました。

第1回目は4月に開かれ、土壌や肥料についての基礎知識や品種選びの特徴などを学びました。今回は部員約15人が参加し、能代市役所ねぎ課係長の佐々木由紀子氏を講師に、お盆過ぎからでも年内に収穫できる野菜や効果的な病害虫対策などについて説明を受けました。

佐々木氏は「白菜や大根、冬レタスなどはお盆過ぎに播種しても年内に収穫はできる。体育の日を境に日照量が減り、気温も低くなるため、低温に強い品種を選び、在圃性を高めてもらいたい」とポイントを教えてくれました。また、病害虫防除については「発生してからでは遅いので、発生する前の防除を徹底してもらいたい」と呼び掛けました。

その後、技術センターの圃場に移り、トマトや小なすなどの栽培方法についても説明を受けました。参加した部員からは「ハウスを見学し効率的な栽培方法を学ぶことができました。これから播いても収穫できる野菜があることを知ったので挑戦してみたい」といった感想が聞かれました。



## 2018「白神の里」JAまつり

女性部は、9月1日にJAあきた白神ントリーエレベーターで開催された、2018「白神の里」JAまつりに参加し、Aコープの酢を使った料理の試食会とママヘラアイス、集まれちびっこ食農クイズを出店しました。

「酢的な自給野菜を食べよう！」では、ブルーベリーのサワードリンク、はるさめの酢物、みょうがの混ぜずし、なすのゼリーの4品を限定200



←行列ができた試食会



→子どもたちに大人気だったママヘラアイス

食で提供しました。提供の時間になるとテント前には行列ができ、あっという間に準備していた200食はなくなりました。また、「集まれちびっこ食農クイズ」では、子どもたちを対象に農業に関するゲームやクイズを行い参加した子どもたちは楽しみながら農業を学んでいました。

毎年大人気のママヘラアイスでは、きれいにアイスが盛られていく手つきに子どもたちは目を輝かせ「ありがとう」といってアイスを受け取っていました。